平成 26 年度 全国自治体病院協議会 「医療の質の評価・公表等推進事業」 結果報告

担当部署 : 事務局 医療情報課

医療の質の評価・公表等推進事業について

当院では、平成 26 年度より公益社団法人 全国自治体病院協議会(JMHA)が実施する「医療の質の評価・公表等推進事業」に参加しています。

この事業は、フィードバックされた指標から見えてきた問題点を病院全体で検討し改善策を実行することにより、さらに医療の質を向上させることを目的としています。ここで取扱う指標は、それぞれの病院の置かれている状況や地域における役割が異なるため数字だけをみて比較するものではなく、自治体病院の医療の質の維持・改善を目指していくためのものです。

当事業では指標の特色として、①地域(地域救急貢献率、地域分娩貢献率)、②パートナー(地域医療機関サポート率、精神科病院からの身体合併症受入患者数等)、③生活支援(在宅復帰率等)など選定し、一般病院は22指標で平成26年7月より3ヶ月ごとに継続的な臨床指標データの分析を行っていきます。(患者満足度調査は年に1度のみ)

平成 26 年度の当事業に当院の医療データを提出し、集計結果がフィードバックされましたのでご報告いたします。

医療の質を測る指標(QI: Quality Indicator)の考え方

医療の質とは、「標準医療への準拠」つまり、根拠に基づいた医療(EBM: Evidence-based Medicine)をどの程度行っているかによって計測されます。医療の質は「医療のあるべき姿」を3つの視点、①構造(Structure)、②過程(Process)、③結果(Outcome)によって評価方法が体系化されています。QIとは、この考え方に沿って医療の質を指標として表すものです。

3つの視点を具体的に表すと下表のようになります。

① 構造(Structure)	施設・医療機器・医師数などの医療専門職の種類や人数などの医療提供 体制を表す指標。
② 過程 (Process)	提供している医療における診療行為や看護ケアについて標準医療やベン
	チマークとの比較によって評価する指標。例えば、肺血栓塞栓症の予防 対策実施率や術後リハビリ実施率などがこれにあたる。
	また、地域医療における一連の診療の過程で行われる紹介(率)などもこれ
	に含まれる。
③ 結果 (Outcome)	提供された医療の結果や治療成績などを評価する指標。例えば、在宅復
	帰率や患者満足度、平均在院日数などがこれにあたる。

全国自治体病院協議会の医療の質の評価・公表等推進事業は、地域医療における自治体病院の果たす役割を示す②過程(Process)と③結果(Outcome)を中心に構成されています。

指標の見方

1. 当院の指標の値 : (参考)フィードバックデータの表内にある青色の箇所が当院の値に

なります。

2. 参加病院との比較 : 棒グラフ、または折れ線グラフ内の、青色の部分が当院のデータを表

します。薄いグレーは参加病院全病院、濃いグレーは 600 床以上の

病院との比較を表します。

3. パーセンタイル値とは: 参加病院の結果値を小さい順に並べ、どの辺りに位置するかを表します。

25 パーセンタイル とは、下から 25%に位置する値のことをいいます。 例えば、100 参加病院があったとすれば、上位 75 位を表します。

 棒グラフの凡例
 当院の値

 当院の値
 全参加病院の75パーセンタイル値

 600 床以上の病院の値
 全参加病院の50パーセンタイル値

 600 床以上の病院の値
 600 床以上の75パーセンタイル値

 600 床以上の50パーセンタイル値
 600 床以上の50パーセンタイル値

 600 床以上の25パーセンタイル値
 600 床以上の25パーセンタイル値

≪平成 26 年度参加行院病床数別内訳≫

病床数別分類	参加 施設数
600 床以上	22
500 床以上 600 床未満	25
400 床以上 500 床未満	18
300 床以上 400 床未満	20
200 床以上 300 床未満	18
200 床未満	12
合計	115

※ 当院は820 床のため600 床以上にあたります。

平成 26 年度 各指標定義結果目次

1 患者満足度調	查	1
1 -1 入院患	者満足度【O1】	1
1 -2 外来患	者満足度【O2】	2
2 紹介率・逆紹	介率	3
2 -1 紹介率	[03]	3
2 -2 逆紹介	率【O4】	4
2 -3 紹介率	・逆紹介率(地域支援病院)	5
2 -3-1 %	紹介率(地域支援病院)【O5】	5
2 -3-2 រ	逆紹介率(地域支援病院)【O6】	6
2 -4 新入院	患者紹介率【O7】	7
3 在宅復帰率【	[08]	8
4 院内他科入院	:中の精神科診察依頼頻度【O9】	9
5 精神科病院入	院からの身体疾患受入れ頻度【10】	10
6 地域医療貢献	'率	11
6 -1 地域医	療機関サポート率【11】	11
6 -2 地域分	娩貢献率【12】	12
6-3 地域教	急貢献率【13】	13
7 転倒・転落レ	ベル2以上発生率【14】	14
8 褥瘡推定発生	率【15】	15
9 クリニカルパ	ス使用率	16
9 -1 クリニ	カルパス使用率(患者数)【16】	16
9 -2 クリニ	カルパス使用率(日数)【17】	17
10 肺血栓塞栓	症の予防対策実施率【18】	18
11 脳梗塞入院	1 週間以内のリハビリ強度【19】	19
12 急性期心筋	梗塞 14 日以内院内死亡率【20】	20
13 ステージ [乳がん患者の乳房温存率【21】	21
14 大腿骨地域	連携パス使用率【22】	22

1 患者満足度調査(分類:Outcome)

患者さんがどのように感じているかを把握し、その結果を反映していくことで、医療サービスの 一層の充実を図るために実施しています。受けた治療の結果、入院期間、安全な治療に対する患者 の満足度をみることは、医療の質を測るうえで直接的な評価指標の重要な一つです。引き続き、高 い患者満足度を維持・向上できるように努めていきます。

1 -1 入院患者満足度【O1】

入院患者満足度は、入院中または退院時にアンケートを行った結果を集計し、当院の入院診療について総合的に満足しているかどうかを表す指標です。

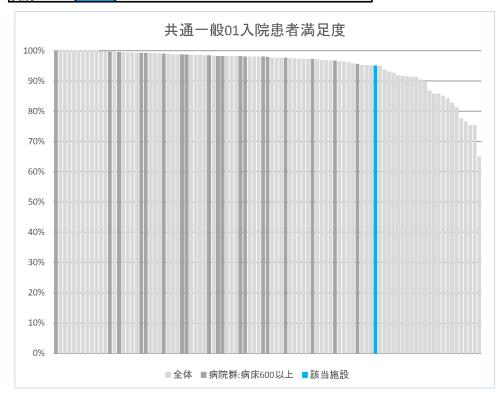
<指標の定義>

計算方法	分 子 : この病院の入院について総合的に「満足」または「ほぼ満足」している と回答した入院患者数
	分 母: 患者満足度調査に回答した入院患者数 ※「普通」「わからない」「未記入」については分母から除く 「普通」の除外は全国自治体病院協議会医療の質の調査・公表等推進事業の定義による
調査期間	平成26年7月7日 ~ 平成26年7月23日
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考)「設問:総合的に考えて当院に満足されていますか?(入院)」

	り数:554人	、 回収数	: 480人	集計有効数	:384 流	節足十はは満足	E:365
満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	わからない	未記入	合計
147	218	84	12	7	2	10	480

	該当数	25パーセンタイル値	中央値	75パーセンタイル値	平均値
全病院	95	95.1%	97.9%	99.1%	95.2%
病床600以上	20	97.8%	98.2%	99.1%	98.2%
貴院			95.1%		



1 -2 外来患者満足度【O2】

外来感者満足度は、外来受診時にアンケートを行った結果を集計し、当院の外来診療について総合的に満足しているかどうかを表す指標です。

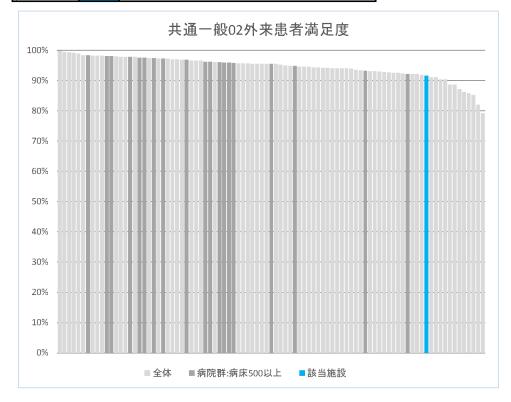
<指標の定義>

計算方法	分 子 : この病院の外来について総合的に「満足」または「ほぼ満足」している と回答した外来患者数
	分 母 : 患者満足度調査に回答した外来患者数 ※「普通」「わからない」「未記入」については分母から除く 「普通」の除外は全国自治体病院協議会医療の質の調査・公表等推進事業の定義による
調査期間	平成26年7月7日 ~ 平成26年8月1日
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考)「設問:総合的に考えて当院に満足されていますか?(外来)」

自己什	9数:2,000	人 回収数	以: 954 人	集計有效数	汉:717	満足十はは流	節足:656
満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	わからない	未記入	合計
209	447	204	43	18	7	26	954

	該当数	25パーセンタイル値	中央値	75パーセンタイル値	平均値
全病院	91	93.0%	95.4%	97.2%	94.5%
病床600以上	20	95.7%	96.1%	97.5%	96.1%
貴院			91.5%	_	



2 紹介率·逆紹介率(分類: Process)

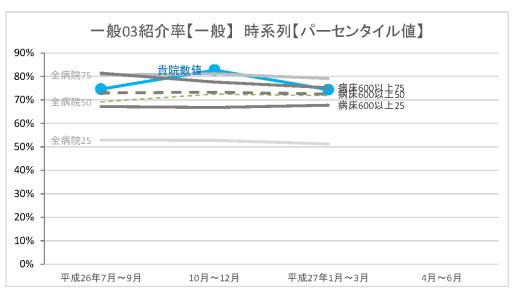
紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合です。一方、逆紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関へ紹介した患者の割合です。高度な医療を提供する医療機関にだけ患者が集中することを避け、症状が軽い場合は「かかりつけ医」を受診し、そこで必要性があると判断された場合に高い機能を持つ病院へ紹介受診します。そして治療を終え症状が落ち着いたら、「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過の観察を行います。これを地域全体として行うことで、地域の医療連携を強化し、切れ間のない医療の提供を行います。つまり、紹介率・逆紹介率の数値は、地域の医療機関との連携の度合いを示しています。

2-1 紹介率【O3】

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 紹介初診患者数 + 救急初診患者数(初診かつ休日または夜間)
	分 母 : 初診患者数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考))当院詳細数値	1期	2期	3期
11 7	紹介初診患者	4,510	4,091	4,155
分子	救急初診患者	4,271	4,683	4,750
分母	初診患者	11,771	10,608	11,101



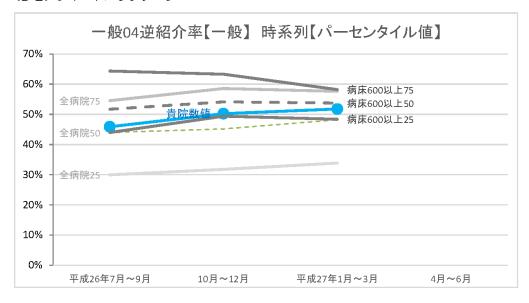
		平成26年 7月~9月	10月~12月	平成27年 1月~3月	4月~6月
貴院	数值	74.6%	82.7%	74.4%	
全病院	25バーセンタイル	52.9%	52.8%	51.2%	
	50バーセンタイル	69.2%	72.5%	71.8%	
	75バーセンタイル	80.7%	81.2%	79.1%	
病床600以上	. 25バーセンタイル	67.2%	66.8%	67.8%	
	50バーセンタイル	73.0%	73.3%	72.5%	
	75バーセンタイル	81.4%	77.6%	75.2%	
全病院	平均値	68.1%	68.9%	67.0%	
病床600以上	平均値	71.1%	71.0%	69.7%	
全病院	登録数	107	108	105	
病床600以上	登録数	22	22	20	

2 -2 逆紹介率【O4】

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 逆紹介患者数
	分 母 : 初診患者数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考))当院詳細数値	1期	2期	3期
分 子	逆紹介患者	5,399	5,328	5,748
分母	初診患者	11,771	10,608	11,101



		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数值	45.9%	50.2%	51.8%		
全病院	25パーセンタイル	30.0%	31.8%	33.9%		
	50パーセンタイル	44.0%	45.2%	48.2%		
	75パーセンタイル	54.5%	58.6%	57.6%		
病床600以上	25パーセンタイル	44.0%	49.4%	48.4%		
	50パーセンタイル	51.7%	54.1%	53.7%		
	75パーセンタイル	64.3%	63.3%	58.2%		
全病院	平均値	45.9%	47.1%	47.6%		
病床600以上	平均値	55.7%	59.3%	57.5%		
全病院	登録数	107	107	106		
病床600以上	登録数	21	21	21		

2 -3 紹介率・逆紹介率(地域支援病院)

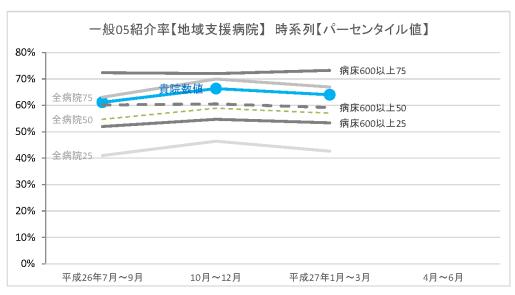
地域医療支援病院とは法律(医療法)で定められた、紹介患者さんや救急医療などを担う病院のことをいいます。紹介率・逆紹介率(地域支援病院)は、救急、時間外初診などを除いた初診患者を分母とし、分子を医療機関外、豊橋市が開設する他の医療機関からの紹介を除外したものとしており、地域支援病院としての役割(地域のかかりつけ医などへの支援)の大きさをより重視した指標となっています。

2 -3-1 紹介率(地域支援病院)【O5】

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 紹介初診患者数
	※ 医療機関以外、豊橋市こども発達センターからの紹介は除く
	分母: 初診患者数
	※ 初診救急搬送患者、初診休日夜間救急患者、自覚症状なく健診目的で受診し
	たが疾患が発見され治療を開始した初診の患者を除く
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考))当院詳細数値	1期	2期	3期
分子	紹介初診患者	4,437	4,044	4,116
分 母	初診患者	7,257	6,096	6,434



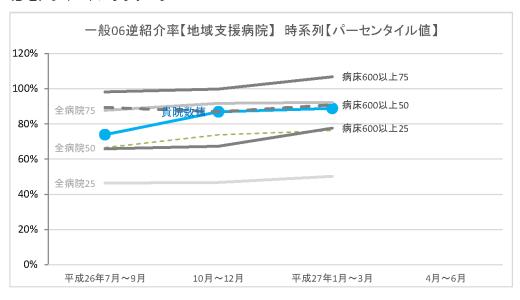
		平成26年		平成27年			
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月		
貴院	数値	61.1%	66.3%	64.0%			
全病院	25パーセンタイル	41.0%	46.4%	42.7%			
	50パーセンタイル	54.7%	58.9%	57.0%			
	75パーセンタイル	63.1%	69.9%	67.0%			
病床600以上	25パーセンタイル	52.0%	54.7%	53.4%			
	50パーセンタイル	60.1%	60.5%	59.2%			
	75パーセンタイル	72.4%	72.0%	73.2%			
全病院	平均値	52.6%	57.8%	54.0%			
病床600以上	平均値	62.6%	64.0%	59.9%			
全病院	登録数	81	79	79			
病床600以上	登録数	20	20	19			

2 -3-2 逆紹介率 (地域支援病院) 【O6】

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 逆紹介患者数
	※ 医療機関以外、豊橋市こども発達センターからの紹介は除く
	分 母 : 初診患者数
	※ 初診救急搬送患者、初診休日夜間救急患者、自覚症状なく健診目的で受診し
	たが疾患が発見され治療を開始した初診の患者を除く
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考))当院詳細数値	1期	2期	3期
分 子	逆紹介患者	5,364	5,296	5,714
分母	初診患者	7,257	6,096	6,434



		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数値	73.9%	86.9%	88.8%		
全病院	25パーセンタイル	46.3%	46.7%	50.2%		
	50パーセンタイル	66.5%	73.8%	76.2%		
	75バーセンタイル	87.7%	91.7%	92.2%		
病床600以上	25パーセンタイル	65.8%	67.3%	77.6%		
	50パーセンタイル	89.4%	86.9%	90.8%		
	75バーセンタイル	98.1%	99.8%	106.8%		
全病院	平均值	66.7%	72.0%	74.2%		
病床600以上	平均値	82.1%	82.6%	89.9%		
全病院	登録数	77	80	82		
病床600以上	登録数	20	21	20		

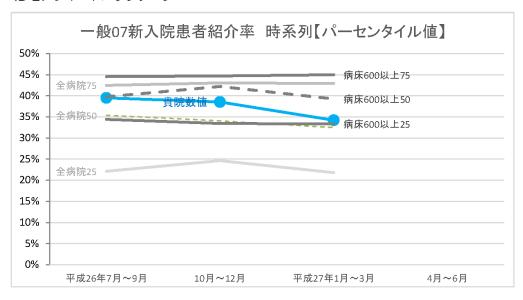
2-4 新入院患者紹介率【O7】

新入院患者紹介率は、新規に入院となった患者さんのうち紹介を受けて入院となった患者さんが どれだけの割合であったかを示します。

<指標の定義>

計算方法	分子: 新入院患者紹介数(入院90日以内に紹介を受けた患者)
	分 母 : 新入院患者数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考))当院詳細数値	1期	2期	3期
分 子	新入院患者紹介	1,855	1,799	1,685
分 母	新入院患者	4,700	4,672	4,926



		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数値	39.5%	38.5%	34.2%		
全病院	25パーセンタイル	22.1%	24.6%	21.8%		
	50パーセンタイル	35.4%	34.0%	32.5%		
	75バーセンタイル	42.5%	43.0%	42.9%		
病床600以上	25パーセンタイル	34.4%	33.4%	33.3%		
	50パーセンタイル	39.7%	42.2%	39.2%		
	75パーセンタイル	44.5%	44.7%	45.0%		
全病院	平均值	33.3%	34.4%	32.3%		
病床600以上	平均值	38.7%	39.8%	38.2%		
全病院	登録数	89	89	89		
病床600以上	登録数	20	21	19		

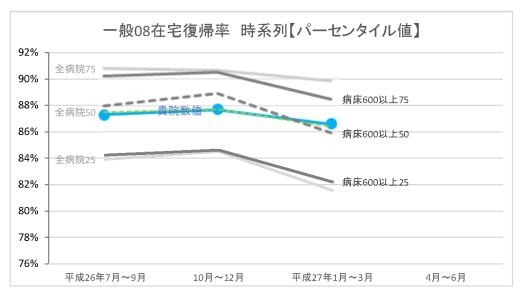
3 在宅復帰率 [O8] (分類: Outcome)

治療が一段落し退院する患者さんのうち、退院先が自宅または福祉施設等の割合を示します。

<指標の定義>

計算方法	分 子: 退院先が自宅等の患者数
	※ 退院後外来通院(自院・他院問わず)、家庭への退院、介護老人福祉施設・
	社会福祉施設・有料老人ホームのへの退院がこれにあたる
	分 母 : 退院患者数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考)	当院詳細数値	1期	2期	3期
分子	退院先が自宅等	4,082	4,266	4,090
分 母	退院患者	4,677	4,866	4,721



			平成26年		平成27年		
			7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
	院	数値	87.3%	87.7%	86.6%		
至	全病院	25パーセンタイル	83.9%	84.5%	81.6%		
		50パーセンタイル	87.5%	87.7%	86.4%		
		75パーセンタイル	90.8%	90.7%	89.9%		
瘀	床600以上	25パーセンタイル	84.2%	84.6%	82.2%		
		50パーセンタイル	88.0%	88.9%	85.9%		
		75バーセンタイル	90.2%	90.5%	88.5%		
3	≧病院	平均値	85.8%	86.1%	83.5%		
痱	床600以上	平均値	85.9%	86.5%	82.1%		
3	主病院	登録数	108	106	107		
痱	床600以上	登録数	22	22	21		

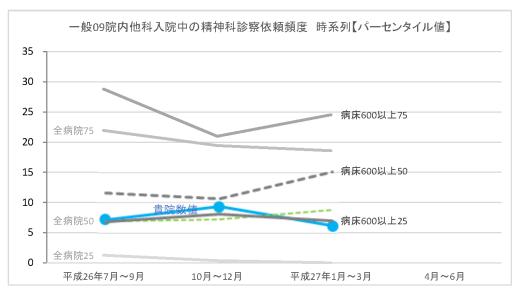
4 院内他科入院中の精神科診察依頼頻度 [O9] (分類: Process)

入院中の患者さんが精神的な問題を抱えていた場合、状況により主治医が対応したり、精神科の専門的な対応が必要な場合には精神科医師が対応します。当院では非常勤精神科医師が対応を行います。この指標の値が高いほど患者さんを多角的に診療していることを表しています。病床 100 床のうち何件の頻度で対応を行っているかを測り指標としています。

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 院内他科入院中の患者で精神科診察の依頼を行った件数
	分 母 : 100 病床あたりの病床数(当院は820 床のため8.2)
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	精神的な問題が発生した場合に専門的な対応がされている目安

(参考)	当院詳細数値	1期	2期	3期
分子	依頼件数	59	77	51
分母	100 病床あたり	8.2	8.2	8.2



		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数值	7.2	9.4	6.2		
全病院	25パーセンタイル	1.3	0.4	0.0		
	50バーセンタイル	7.0	7.3	8.9		
	75バーセンタイル	21.9	19.4	18.6		
病床600以上	25パーセンタイル	6.9	8.1	7.0		
	50バーセンタイル	11.7	10.7	15.2		
	75バーセンタイル	28.8	21.0	24.5		
全病院	平均値	19.8	16.0	18.2		
病床600以上	平均値	23.0	21.8	19.4		
全病院	登録数	90	91	89		
病床600以上	登録数	22	22	21		

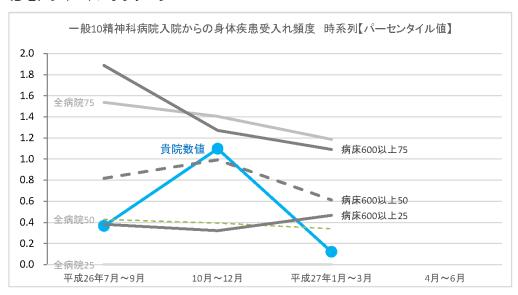
5 精神科病院入院からの身体疾患受入れ頻度【10】(分類:Process)

精神科病院に入院している患者さんが、がん、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病の悪化、外傷、虫垂炎などを合併した場合、専門の診療科での治療が必要となり、総合病院などへ転院が必要になることがあります。これらの受入れを病床 100 床のうち何件の頻度で発生しているかを測り指標としています。

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 紹介患者のうち、精神科病院で入院していた患者で身体疾患により転院 してきた患者数
	分 母: 100 病床あたりの病床数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	精神科病院との連携の度合いを示す

(参考)	当院詳細数値	1期	2期	3期
分子	紹介件数	3	9	1
分母	100 病床あたり	8.2	8.2	8.2



ᆥ	7月~9月	10 0 10 0			
ab R는		10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院 数值	直 0.4	1.1	0.1		
全病院 25パー	センタイル 0.0	0.0	0.0		
50/ (センタイル 0.4	0.4	0.3		
75/ (センタイル 1.5	1.4	1.2		
病床600以上 25パー	センタイル 0.4	0.3	0.5		
50/1-	センタイル 0.8	1.0	0.6		
75/ (センタイル 1.9	1.3	1.1		
全病院 平均	9値 1.1	1.0	0.9		
病床600以上 平均	9値 1.3	1.0	0.9		
全病院 登録	录数 80	88	87		
病床600以上 登録	录数 2:	2 22	21		

6 地域医療貢献率(分類:Process)

地域医療貢献率とは、二次医療圏(東三河南部医療圏:豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市)内に おける役割の大きさを表します。

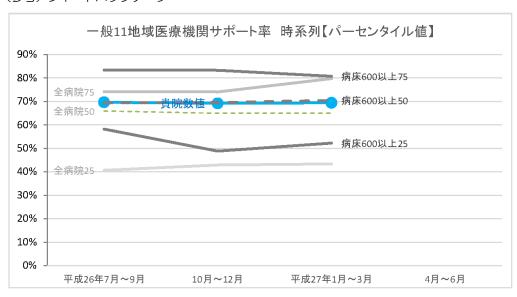
6-1 地域医療機関サポート率【11】

二次医療圏における連携の広さを表します。二次医療圏内の医科の医療機関から、当院への転院が望ましいと判断され紹介を受けた医療機関の数の割合を示します。

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 紹介を受けた二次医療圏内の医科医療機関数
	分 母: 二次医療圏内の医科医療機関数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参	考)当院詳細数値	1期	2期	3期
分 子	紹介を受けた医療機関	344	343	342
分 母	圏内医療機関数	494	496	493



		平成26年		平成27年	
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月
貴院	数値	69.6%	69.2%	69.4%	
全病院	25パーセンタイル	40.6%	42.9%	43.3%	
	50パーセンタイル	65.9%	64.9%	64.9%	
	75バーセンタイル	74.1%	74.0%	79.7%	
病床600以上	. 25バーセンタイル	58.2%	48.8%	52.2%	
	50パーセンタイル	69.3%	69.5%	70.4%	
	75バーセンタイル	83.3%	83.2%	80.7%	
全病院	平均値	58.0%	59.0%	59.7%	
病床600以上	平均値	68.0%	67.1%	68.4%	
全病院	登録数	85	86	86	
病床600以上	登録数	19	20	19	

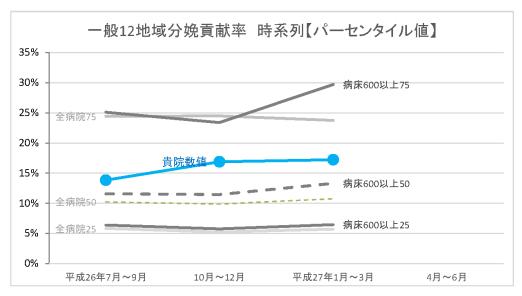
6 - 2 地域分娩貢献率【12】

二次医療圏内で生まれた新生児のうち、当院での出生の割合を表します。

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 院内出生数
	分 母 : 二次医療圏内の総出生数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	地域の分娩における役割の大きさを示す

(参考)	当院詳細数値	1期	2期	3期
分 子	院内出生数	214	256	267
分母	圏内総出生数	1,546	1,516	1,551



		平成26年		平成27年	
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月
貴院	数値	13.8%	16.9%	17.2%	
全病院	25パーセンタイル	5.8%	5.2%	5.7%	
	50パーセンタイル	10.2%	9.9%	10.8%	
	75バーセンタイル	24.4%	24.5%	23.7%	
病床600以上	L 25バーセンタイル	6.4%	5.7%	6.4%	
	50パーセンタイル	11.6%	11.4%	13.3%	
	75バーセンタイル	25.1%	23.4%	29.7%	
全病院	平均值	19.9%	20.7%	20.2%	
病床600以」	Ŀ 平均値	20.7%	22.0%	21.6%	
全病院	登録数	64	65	64	
病床600以上	上 登録数	17	16	16	

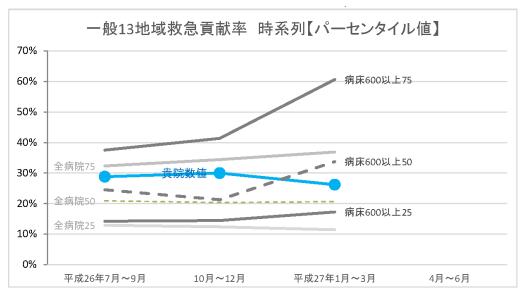
6 -3 地域救急貢献率【13】

二次医療圏内で救急搬送された患者が当院へ搬送される割合を表します。

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 救急搬送来院患者数
	分 母 : 二次医療圏内の総救急搬送人数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	地域の救急医療における役割の大きさを示す

(参考)	当院詳細数値	1期	2期	3期
分子	救急搬送来院数	1,824	1,755	1,721
分母	圏内救急搬送人数	6,335	5,853	6,570



		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数值	28.8%	30.0%	26.2%		
全病院	25バーセンタイル	12.9%	12.4%	11.4%		
	50パーセンタイル	20.9%	20.3%	20.6%		
	75パーセンタイル	32.3%	34.4%	36.9%		
病床600以上	25パーセンタイル	14.2%	14.5%	17.2%		
	50パーセンタイル	24.5%	21.3%	33.7%		
	75パーセンタイル	37.5%	41.3%	60.6%		
全病院	平均值	26.4%	28.3%	31.1%		
病床600以上	平均值	30.8%	32.7%	42.7%		
全病院	登録数	82	73	74		
病床600以上	登録数	20	17	18		

7 転倒・転落レベル 2 以上発生率【14】(分類: Outcome)

入院中の患者の転倒やベッドからの転落は少なくありません。原因としては、入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療・手術などによる身体的なものなど様々なものがあります。 転倒・転落の発生率、損傷発生率の両者を追跡するとともに、それらの事例を分析することで予防策を実施し、リスクを低減していく取り組みにつなげていきます。

転倒・転落の損傷レベルについては、「The Joint Commission」の定義を使用しています。

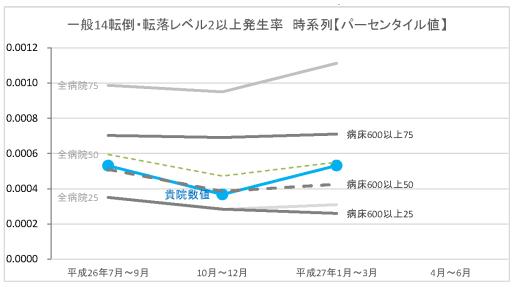
く損傷レベル>

- 1:なし 患者に損傷はなかった
- 2:軽度 包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
- 3:中度 縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
- 4:重度 ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため 診察が必要となった
- 5: 死亡 転倒による損傷の結果、患者が死亡した
- 6:UTD 記録からは判定不可能

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 転倒・転落レベル2以上発生件数
	分 母 : 入院延べ日数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より低い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期
分 子	レベル2以上	34	34	35
分 母	入院延べ日数	64,058	65,261	65,843



		平成26年 7月~9月	10月~12月	平成27年 1月~3月		
貴院	数値	0.00053	0.00037	0.00053		
全病院	25パーセンタイル	0.00035	0.00028	0.00031		
	50バーセンタイル	0.00059	0.00047	0.00055		
	75パーセンタイル	0.00099	0.00095	0.00111		
病床600以上	25パーセンタイル	0.00035	0.00028	0.00026		
	50パーセンタイル	0.00051	0.00039	0.00043		
	75バーセンタイル	0.00070	0.00069	0.00071		
全病院	平均値	0.00083	0.00068	0.00082		
病床600以上	平均値	0.00066	0.00056	0.00057		
全病院	登録数	105	107	106	•	
病床600以上	登録数	20	22	21		

8 褥瘡推定発生率【15】(分類:Outcome)

褥瘡は、看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。褥瘡は患者の生活機能が保たれず、人間らしい生活を続けられる QOL (Quality of Life)の低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど治療が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は、提供する医療の重要な項目の1つにとらえられ、1998年からは診療報酬にも反映されています。

褥瘡の深さについては、日本褥瘡学会の DESIGN-R(2008 年改訂版褥瘡経過評価用)と International NPUAP-EPUAP Pressure Ulcer Guidelines を用いています。

<褥瘡 Depth 深さ>

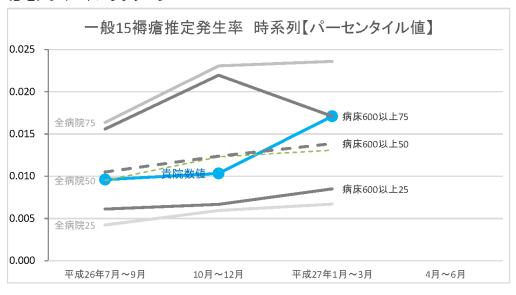
dO:皮膚損傷・発赤なし D3:皮下組織までの損傷 DU:深さ判定が不能の場合

d1:持続する発赤D4:皮下組織を超える損傷d2:真皮までの損傷D5:関節腔、体腔に至る損傷

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 入院時に褥瘡がなく、調査日に褥瘡を新規に保有する患者数
	+入院時に褥瘡があり、他部位に褥瘡が発生した患者数
	分 母 : 調査日の在院患者数
調査期間	1期:平成26年7月31日,2期:平成26年10月31日,3期:平成27年1月31日
値の解釈	より低い値が望ましい

(参考)当院詳細数値	1期	2期	3期
ハラ	入院中新規発生	6	7	10
分子	入院中他部位発生	0	0	2
分 母	分 母 在院患者数		677	702



		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数値	0.010	0.010	0.017		
全病院	25パーセンタイル	0.004	0.006	0.007		
	50パーセンタイル	0.010	0.012	0.013		
	75パーセンタイル	0.016	0.023	0.024		
病床600以上	25バーセンタイル	0.006	0.007	0.009		
	50パーセンタイル	0.011	0.012	0.014		
	75パーセンタイル	0.016	0.022	0.017		
全病院	平均值	0.013	0.019	0.019		
病床600以上	平均值	0.013	0.015	0.014		
全病院	登録数	98	99	95		
病床600以上	登録数	20	20	17		

9 クリニカルパス使用率(分類:Process)

クリニカルパスとは良質な医療を効率的、かつ安全、適正に提供するための手段として、主な診療に先だって計画された診療計画表をいいます。類似の症例には同じクリニカルパスが適用され、効率的(=より短い在院日数で密度の高い医療・余分な検査や投薬を削減し医療費を抑える)で安全(=チーム医療における情報共有・リスクマネジメントに役立つ)な医療が提供されます。

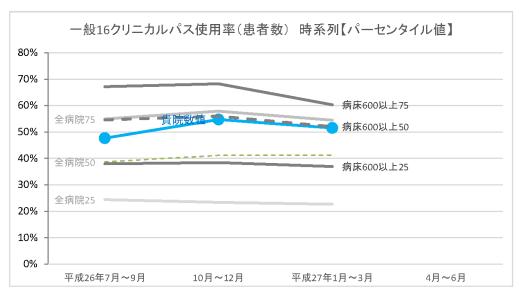
クリニカルパスが適用されている割合は一定の質が保たれた医療を提供している目安といえます。 まれな疾患や病状などではあらかじめ計画を立てることが出来ないためクリニカルパスを使用す ることは出来ません。

9-1 クリニカルパス使用率 (患者数) [16]

<指標の定義>

計算方法	分 子 : クリニカルパス新規適用患者数
	分 母 : 新入院患者数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい(複雑な治療が多い施設はこの限りではない)

(参考)	当院詳細数値	1期	2期	3期
分 子	パス適用患者	2,240	2,556	2,538
分母	新入院患者	4,700	4,672	4,926



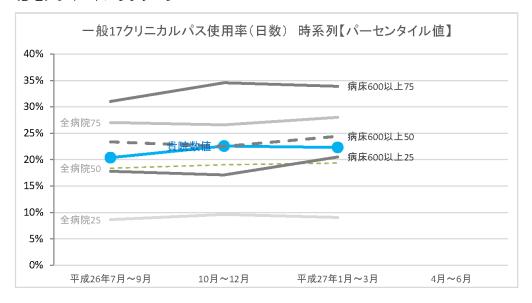
		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数値	47.7%	54.7%	51.5%		
全病院	25パーセンタイル	24.4%	23.4%	22.7%		
	50パーセンタイル	38.7%	41.2%	41.2%		
	75パーセンタイル	54.9%	57.9%	54.5%		
病床600以上	25パーセンタイル	38.0%	38.4%	36.9%		
	50パーセンタイル	54.6%	56.0%	52.0%		
	75バーセンタイル	67.2%	68.2%	60.3%		
全病院	平均值	39.4%	41.4%	40.0%		
病床600以上	平均值	53.8%	54.3%	50.5%		
全病院	登録数	102	101	100		
病床600以上	登録数	21	20	20		

9-2 クリニカルパス使用率(日数) [17]

<指標の定義>

計算方法	分 子 : クリニカルパス適用合計日数
	分 母 : 入院延べ日数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい(複雑な治療が多い施設はこの限りではない)

(参考)	当院詳細数値	1期	2期	3期
分子	パス適用合計日数	13,048	14,727	14,681
分 母	入院延べ日数	64,058	65,261	65,843



		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数値	20.4%	22.6%	22.3%		
全病院	25パーセンタイル	8.6%	9.6%	9.0%		
	50パーセンタイル	18.4%	19.0%	19.4%		
	75パーセンタイル	27.0%	26.6%	28.0%		
病床600以上	25パーセンタイル	17.8%	17.1%	20.5%		
	50パーセンタイル	23.4%	22.5%	24.4%		
	75バーセンタイル	31.0%	34.6%	33.9%		
全病院	平均值	19.8%	21.2%	20.4%		
病床600以上	平均值	26.8%	28.7%	27.6%		
全病院	登録数	92	88	88		
病床600以上	登録数	18	20	19		

10 肺血栓塞栓症の予防対策実施率【18】(分類: Process)

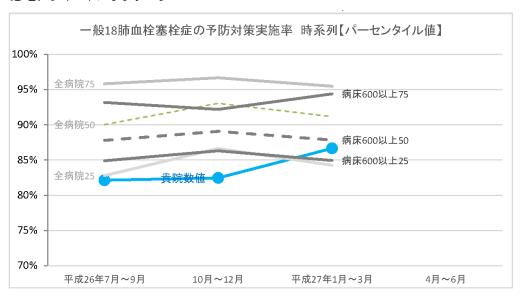
手術後における急性肺血栓塞栓症は、下肢あるいは骨盤内静脈の血栓が原因とされており、整形外科、消化器外科、産婦人科などの術後に安静臥床が長くなった患者では注意しなければならない 術後合併症の一つです。

肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(2009年改訂版) では中リスク以上の場合には、リスク分類に応じて弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫法、 抗凝固療法の単独あるいは併用の予防方法が推奨されています。

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策(弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧
	迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上)が実施された手術数
	分 母 : 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考)	当院詳細数値	1期	2期	3期
分 子	予防対策実施数	763	714	733
分母	該当手術数	929	866	846



		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数値	82.1%	82.4%	86.6%		
全病院	25パーセンタイル	82.8%	86.6%	84.3%		
	50パーセンタイル	90.0%	93.0%	91.1%		
	75バーセンタイル	95.8%	96.7%	95.5%		
病床600以上	25パーセンタイル	84.9%	86.3%	84.9%		
	50パーセンタイル	87.8%	89.1%	87.8%		
	75バーセンタイル	93.2%	92.2%	94.4%		
全病院	平均值	85.7%	89.0%	87.3%		
病床600以上	平均值	87.9%	88.5%	87.2%		
全病院	登録数	86	84	84		
病床600以上	登録数	20	19	19		

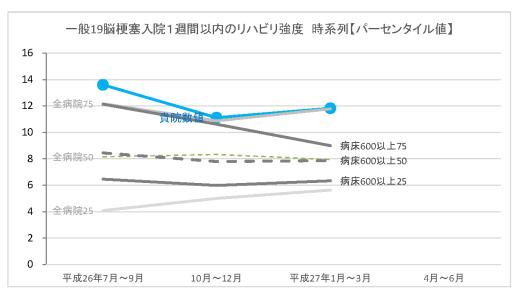
11 脳梗塞入院1週間以内のリハビリ強度【19】(分類:Process)

脳卒中患者では早期にリハビリテーションを開始することで、機能予後をよくし、再発リスクの増加もみられず、ADL の退院時到達レベルを犠牲にせずに入院期間が短縮されることが分かっています。わが国の脳卒中治療ガイドライン 2009 では、「廃用症候群を予防し、早期の ADL 向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとにできるだけ発症後早期から積極的なリハビリテーションを行うことが強く勧められている(グレード A)」と書かれています。したがって、適応のある患者には早期からリハビリテーションが開始されていることが望まれます。

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 分母のうち、入院7日目までのリハビリテーション施行単位合計
	分 母: 1週間以上入院した急性期脳梗塞症例数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考)	当院詳細数値	1期	2期	3期
分子	い施行単位合計	734	600	780
分 母	該当症例数	54	54	66



		平成26年 7月~9月	10月~12月	平成27年 1月~3月	4月~6月	
貴院	数值	13.6	11.1	11.8		
全病院	25バーセンタイル	4.1	5.0	5.6		
	50バーセンタイル	8.2	8.3	7.9		
	75バーセンタイル	12.2	10.9	11.8		
病床600以上	25パーセンタイル	6.5	6.0	6.3		
	50バーセンタイル	8.4	7.8	7.9		
	75パーセンタイル	12.1	10.6	9.0		
全病院	平均值	9.0	8.3	9.3		
病床600以上	平均值	9.4	8.4	9.7		
全病院	登録数	87	87	86		
病床600以上	登録数	22	20	20		

12 急性期心筋梗塞 14 日以内院内死亡率 [20] (分類: Outcome)

急性心筋梗塞は心臓の筋肉に血液が流れなくなる状態をいいます。発症から救急搬送までの時間により来院時既に重傷になっていることがあります。この重傷度を表す Killip 分類を利用して補正をかけています。

<Killip 分類による調整>

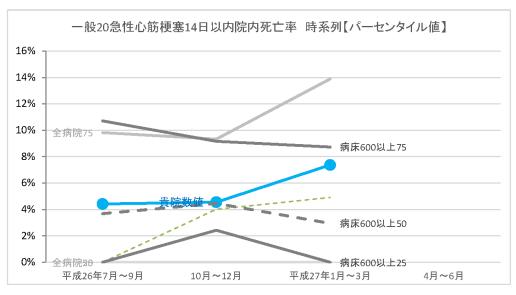
	院内死亡数	院内症例数	粗死亡率	全国症例数	補正
Class1	D1	N1	D1/N1	TN1	(D1/N1)*TN1
Class2	D2	N2	D2/N2	TN2	(D2/N2)*TN2
Class3	D3	N3	D3/N3	TN3	(D3/N3)*TN3
Class4	D4	N4	D4/N4	TN4	(D4/N4)*TN4
合 計				S	Е

リスク調整死亡率 = E / S

<指標の定義>

計算方法	D : Nのうち、14日以内に死亡した患者数
(E / S)	N : 入院契機病名と最資源病名が急性心筋梗塞の入院数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より低い値が望ましい

(参考)当院詳細数値	1期	2期	3期	
Class1 (D1 / N1)	0 / 1	1 / 0	0 / 3	
Class2 (D2 / N2)	0 / 1	1 / 10	0 / 12	
Class3 (D3 / N3)	0 / 5	1 / 4	0 / 4	
Class4 (D4 / N4)	3 / 10	0 / 6	3 / 6	



		平成26年		平成27年		
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
貴院	数値	4.4%	4.6%	7.4%		
全病院	25パーセンタイル	0.0%	0.0%	0.0%		
	50パーセンタイル	0.0%	4.0%	4.9%		
	75パーセンタイル	9.8%	9.3%	13.9%		
病床600以上	25パーセンタイル	0.0%	2.4%	0.0%		
	50パーセンタイル	3.7%	4.5%	2.9%		
	75バーセンタイル	10.7%	9.2%	8.7%		
全病院	平均值	5.4%	6.4%	7.0%		
病床600以上	平均値	5.9%	6.0%	6.0%		
全病院	登録数	82	76	79		
病床600以上	登録数	22	21	21		

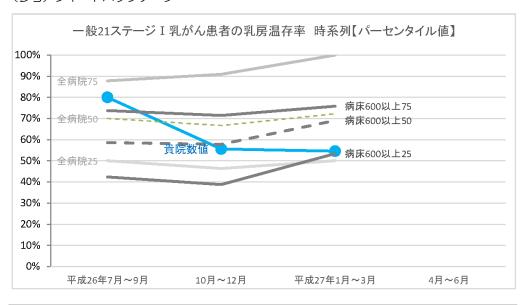
13 ステージ [乳がん患者の乳房温存率 [21] (分類: Process)

ステージ I の乳がんとは、がんの大きさが 2cm 以内で腋下のリンパ節に転移していない場合をいいます。乳房温存手術はがんの大きさ、部位、皮膚の状態、術後に放射線治療ができるか否か(他の疾患の影響はあるか)により施行可能な場合とそうでない場合があります。

<指標の定義>

計算方法	分 子 : 分母のうち、乳房温存手術実施件数
	分 母 : 乳がんステージ [の手術実施件数
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値 分子 乳房温存手術		1期	2期	3期
分 子	乳房温存手術	8	5	6
分母	該当手術数	10	9	11



平成26年 平原	₹27年
	~3月 4月~6月
貴院 数値 80.0% 55.6%	54.5%
全病院 25バーセンタイル 50.0% 46.4%	50.0%
50パーセンタイル 70.0% 66.7%	72.2%
75パーセンタイル 87.8% 90.9%	100.0%
病床600以上 25バーセンタイル 42.4% 38.8%	53.4%
50パーセンタイル 58.6% 57.8%	69.0%
75パーセンタイル 73.8% 71.4%	75.8%
全病院 平均値 66.0% 64.3%	65.5%
病床600以上 平均値 57.6% 54.6%	61.4%
全病院 登録数 75 76	71
病床600以上 登録数 22 20	20

14 大腿骨地域連携パス使用率 [22] (分類: Process)

脚の付け根(大腿骨頸部)の骨折などでは手術後にリハビリテーションを行うため専門病院等に 転院することがあります。手術を行う病院と受け入れを行う病院があらかじめ計画を共有した上で 個々の患者さんの診療計画を作成することを地域連携パスといいます。

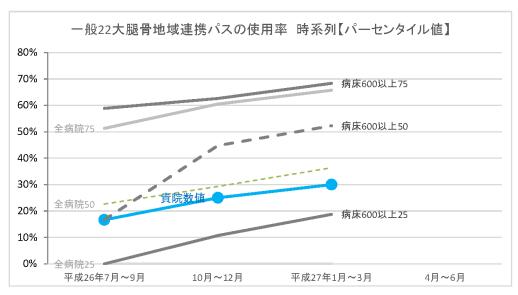
<指標の定義>

計算方法	分 子: 分母のうち、地域連携診療計画管理料が算定された症例数
	分 母 : 大腿骨頸部骨折(大腿骨頸部骨折骨接合術・大腿骨頸部骨折人工骨 頭置換術等を実施)退院症例数
	以直共同なころにかとればいめ
集計期間	1期:平成26年7月~9月,2期:平成26年10月~12月,3期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考)	(参考) 当院詳細数値 分 子 算定症例数		2期	3期
分 子	算定症例数	1	2	3
分母	該当症例数	6	8	10

亚 代の6年

(参考) フィードバックデータ



		平成26年		平成2/年			
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月		
貴院	数値	16.7%	25.0%	30.0%			
全病院 25	5バーセンタイル	0.0%	0.0%	0.0%			
50	0バーセンタイル	22.6%	29.3%	36.4%			
75	5バーセンタイル	51.3%	60.5%	65.7%			
病床600以上 25	5バーセンタイル	0.0%	10.7%	18.8%			
50	0バーセンタイル	16.7%	44.8%	52.3%			
75	5バーセンタイル	58.9%	62.6%	68.3%			
全病院	平均値	29.0%	35.6%	37.6%			
病床600以上 3	平均值	29.4%	39.8%	43.1%			
全病院	登録数	80	84	81			
病床600以上	登録数	20	20	20			

ᇴᅷᇬᆇ